

今、何の病気が流行しているか！

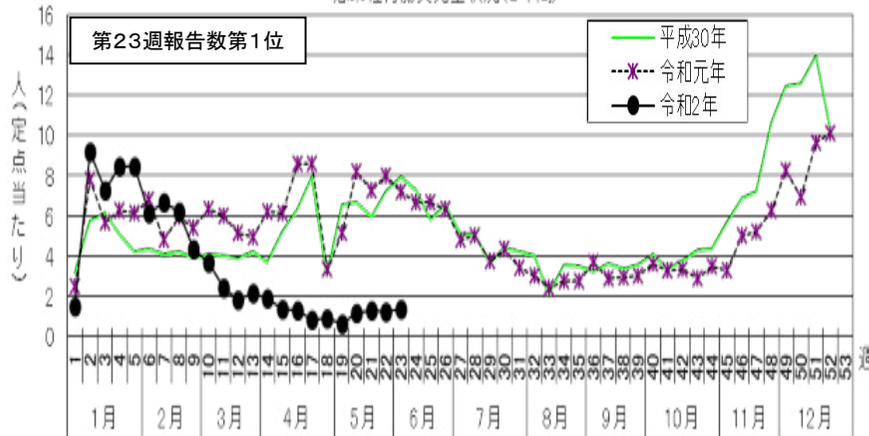
【感染症発生動向調査事業から】

令和2年6月1日（月）～令和2年6月7日（日）〔令和2年第23週〕の感染症発生状況

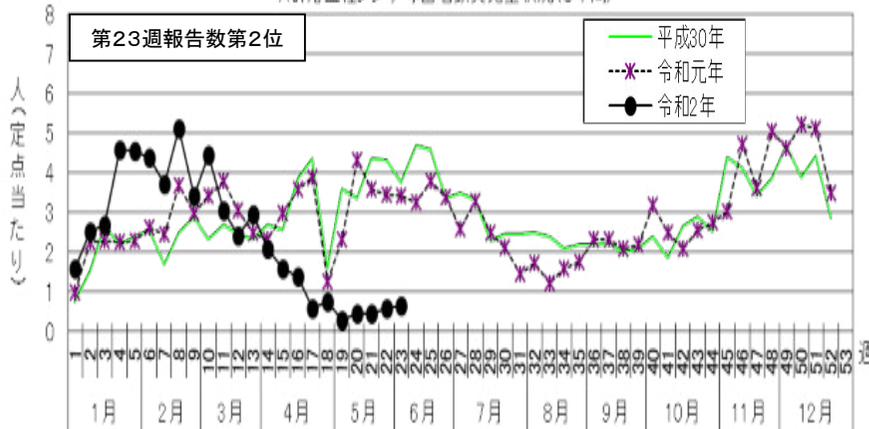
第23週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.38人と前週（1.22人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.65人と前週（0.59人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.35人と前週（0.38人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)

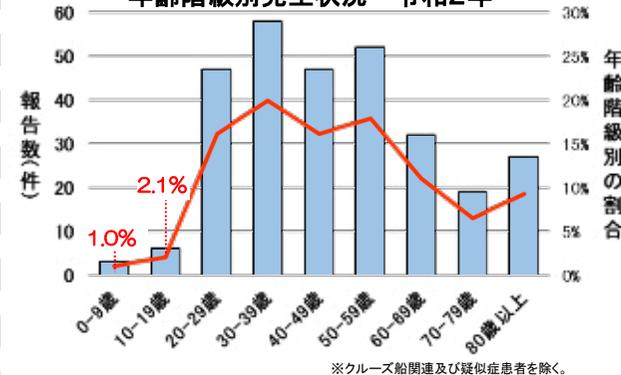


学校での感染予防対策～新型コロナウイルス感染症～

川崎市では、令和2年第23週（6月1日～6月7日）までに新型コロナウイルス感染症の報告が291件（疑似症患者は除く。）ありました。年齢階級別では、0～9歳が1.0%、10～19歳が2.1%と小児の割合が非常に低く、家族など大人との濃厚接触による感染がほとんどでした。

市内の市立学校では、令和2年6月1日から分散登校が開始され、6月15日からは通常登校になります。学校における感染リスクを下げるためには、教室等での十分な換気と咳エチケットが重要です。適切な距離を保つことが難しい場合にはマスクを着用しましょう。また、給食の提供も開始されますので、食前食後の手洗いも忘れないようにしましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の年齢階級別発生状況－令和2年－



手洗いの6つのタイミング

